

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-2	公共交通ターミナル整備の空間経済分析に関する研究開発	金沢大学 准教授 高山 雄貴	A
<p><研究の概要></p> <p>本研究では、公共交通ターミナル整備がもたらす長期的・広域的な効果の空間分布を計量化するための空間経済分析手法を開発する。具体的には、公共交通ターミナル整備が都市内交通・土地利用に与える影響を評価する手法と、高速バス網の拡充による周辺地域への波及効果を評価する手法を開発する。そして、これらの手法により、実都市（札幌、金沢を想定）でのターミナル整備により長期間・広範囲に渡って発現する効果を計測する。</p> <p><中間評価結果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最終年度では、構築した社会・経済・交通分析手法により、バスタのような公共交通ターミナルをどのように評価することができるのかについてのケーススタディの充実を図って頂きたい。 2. 研究成果の今後の対外発表等については、是非、「バスタの評価」という観点からの学术论文や成果発表等についても（一般的なモデル開発に関する研究成果発表と同様に）目指して頂きたい。 3. 次年度具体的な箇所を用いて分析予定とのことであり、事業評価の実務への活用が可能となるような成果を期待したい。 <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本研究で提案している交通・立地統合モデルの開発が進み、公共交通ターミナル整備の効果計測に活用する道筋が示されることを期待する。特に、実務への適用のしやすさに配慮したとりまとめがなされることが望ましい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第45回新道路技術会議において審議したものである。